

ま ち の 話 題

豊岡

玄武洞応援隊「なりきり玄さん」

9月4日、玄武洞公園で、観光PRに活躍中の豊岡市マスコット「玄さん」の体験ができる「なりきり玄さん」のお披露目式（豊岡観光協会主催）が行われました。

「なりきり玄さん」は、来園者が「玄武洞応援隊」に加入（500円）すると、30分間扮装して「玄さん」気分が味わえるというもので、11月末まで実施します。

これまで、市内外の行事への出役に忙しく、ふるさとの玄武洞公園になかなか里帰りできなかった本物の玄さんは「これで、安心して観光PRに行けるようになった。ワシの留守中は任したで！」と喜んでいました。



▲「玄さん」(左)と第1号「なりきり玄さん」(右)と一緒にガッツポーズ

城崎

全国子どもの本と児童文化講座豊岡・城崎大会

文学の香り豊かな城崎で

読書の大切さを再確認！

8月18日と19日の2日間、城崎大会議館城崎町湯島)などで第42回全国子どもの本と児童文化講座豊岡・城崎大会が本市で初めて開催され、全国から約300人が参加しました。この大会は、日本子どもの本研究会が子どもの読書教育を考えるために、毎年国内各地で実施しているもので、ノートルダム清心女子大学教授の脇 明子さんの記念講演のほか、さまざまな分科会や講座などが行われました。東京から参加し、初めて城崎を訪れた井上桂子さんは「とても魅力的で素敵な場所。文豪の方たちが好まれた気持ち分かる」と話していました。



▲初日の夜、「城崎文学散歩と外湯めぐり」で現地ガイドの説明を受ける参加者たち

竹野

竹野南地区変装おどり大会

時世を反映した変装で 楽しく踊って賞を競う！

8月23日、変装おどり大会が森本中学校グラウンドで開催され、さまざまな変装をした参加者が会場を盛り上げました。

この大会は、80年以上の歴史があり、竹野南地区に伝わる「やちゃ踊り」などを踊り、衣装と踊りで賞を競うものです。地区の方も地区外の方も、中座保存会の皆さんが歌と囃子を奏でると一斉に踊り出します。

大会の実行委員長の杉本 章さんは「毎年、参加者は世相を反映した格好で出場し、見ていて楽しい。参加者を増やす努力をし、継承していきたい」と話しました。

この夜は「玄さん」のオンパレードでした。



▲変装した参加者が「やちゃ踊り」を踊る

日高

第13回ミニ企画展 発見！化石ワールド！！

「化石のレプリカを作ろう！」

化石のレプリカ(複製)に興味津々

8月21日、但馬国府・国分寺館(日高町祢布)で、発見！化石ワールド！！体験イベント「化石のレプリカを作ろう！」を開催しました。

本物の化石から型取ったシリコンゴムの型は、アンモナイト、三葉虫、ビカリアの3種類9つあり、参加した子どもたちは、好きな型を選び、楽しみながらレプリカ作りに挑戦していました。

指導者の葉狩賢太郎さん(岡山理科大学3年)は「本物の化石だと実際に手に取って見ることはできないが、レプリカであれば、手に取り、化石の細部まで知ることができる」と話していました。



▲但馬国府・国分寺館職員の説明を受け、レプリカを作る子どもたち

出石

伊藤清永美術館子ども写生会

間に合うかな？夏休みの課題 暑さに負けず大奮闘！！

8月28日、伊藤清永美術館子ども写生会を開催し、残暑厳しい中、39人の幼稚園児や児童・生徒が、夏休み最後の土曜日、出石城下の風景画に挑戦しました。

参加者は、夏休みの提出課題や自由学習用に、伊藤清永美術館周辺など3カ所のポイントに別れ、それぞれ思い思いの出石の情景を、白い画用紙に描いていました。

初めて参加した浅田ひかりさん(弘道小5年)は「みんなと一緒にできて楽しい」と笑顔で話し、毎年参加している田中 凜さん(弘道小5年)は「なかなかいい色が出せなくて難しい」と苦笑いしていました。



▲真剣なまなざしで被写体をとらえる参加者ら

但東

第29回但東芸能発表会

猛暑の夏にも 踊りや演奏に親しもう！

8月28日、但東芸能発表会(但東文化協会主催)が、但東市民ホールで開催されました。

特別出演の但東中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けた発表会では、但東文化協会加盟の各グループが、フラメンコ、津軽三味線、舞踊や箏曲などを披露し、日ごろの練習の成果を存分に発揮していました。

観覧に訪れた約200人の皆さんは、外の暑さに負けないほど熱の入った各グループに、惜しめない拍手を送っていました。

終始盛り上がりを見せた発表会は、舞台と客席とが一体となり、「四季の歌」をみんなで歌って幕を閉じました。



▲歌や踊りに会場も盛り上がる